

平成 27 年 度
事 業 計 画 書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人 北九州産業学術推進機構

目次

事業計画書

【公益目的事業会計】

1 北九州学術研究都市の研究開発拠点化の推進

- (1) 研究機関等や人材の集積の促進と教育研究環境の整備 1
- (2) 学研都市の国際化の推進 2

2 産学連携による技術力の強化と新事業の創出

- (1) 情報発信と連携の場の創出 2
- (2) 研究開発の支援と事業化の推進 3

3 中小企業の経営支援と創業の促進

- (1) 中小企業の経営支援 5
- (2) 創業の促進 6

【収益事業等会計】

- (1) 学研都市施設活用事業 6

【法人会計】

- (1) 財団の管理運営等 6

【公益目的事業会計】

1 北九州学術研究都市の研究開発拠点化の推進

(1) 研究機関等や人材の集積の促進と教育研究環境の整備 (1,328,695 千円)

○ 学研都市広報事業(31,754 千円)

□ 学研都市 PR 事業(4,704 千円)

FAIS 事業概要(アニュアルレポート)や学研都市紹介パンフレットの発行などにより、学研都市の活動を対外的に広く PR する。

また、市政記者クラブ等向けのプレスリリースやホームページ・フェイスブックでの情報発信を積極的に行い、学研都市関連の報道件数の増加を図る。

□ 学研都市地域交流事業(2,476 千円)

「北九州市立大学ひびきの大学祭(響嵐祭)」にあわせて地元自治会など地域の方々との協同による「ひびきの祭」を開催し、市民に開かれたキャンパスとして、地域の人々との交流の促進と北九州地域における認知度の向上を図る。

□ 大学間連携促進事業(976 千円)

- ・ キャンパス運営委員会の開催
- ・ 学研都市見学会

北九州工業高等専門学校の大学院進学希望者を対象とした見学会を開催し、学研都市の施設・設備に触れ、研究室を訪問して大学院生と接する機会を提供し、また最先端の教育研究活動を体験することで学研都市への進学意欲の向上を目指す。

○ 学研都市人材育成事業(14,465 千円)

□ カーエレクトロニクス拠点推進事業(人材育成関連)(3,680 千円)

学研都市 3 大学院による連携大学院カーエレクトロニクスコースとインテリジェントカー・ロボティクスコースの支援を中心に、次世代を担うリーダーとして高度専門人材の育成に取り組み、学研都市の機能強化や学研都市及び北九州市の拠点化・ブランド化を推進する。

また、企業のエンジニアと学生とのディスカッションによる職業観醸成や就職に向けたきっかけづくり(オフサイトミーティング)及び企業の研究部門などへの学生派遣の支援などを行う。

□ ロボット開発支援推進事業(人材育成関連)(1,250 千円)

学研都市内の大学を中心とした学生を対象に、ものづくり試作の支援等を行う人材育成プログラム「ひびきの高度ものづくり実践人材育成事業」を実施する。

□ 半導体人材育成事業(1,003 千円)

ひびきの LED アプリケーション創出協議会の研究グループや、企業サークルなどと連携し、参画企業や市内企業などのエレクトロニクス技術者を養成することにより、企業ニーズに対応した実践的な技術力の向上に寄与する。また、講師や受講者間の交流、技術情報の交換等を推進する。

○ 学術研究施設等管理運営事業(1,282,476 千円)

□ 学術研究施設等管理運営事業(1,149,378 千円)

学研都市の共同利用施設の指定管理者として北九州市から指定(平成 25 年度～平成 29 年度：5 年間)を受けて、当該施設の効率的かつ適正な管理運営や利用促進のための PR 等を行う。

【管理運営受託施設】

産学連携センター(1号館～5号館、別館)、学術情報センター、会議場ほか

□ **北九州テレワークセンター管理運営事業(133,098千円)**

「北九州テレワークセンター」の指定管理者として北九州市から指定(平成25年度～平成29年度:5年間)を受けて、当該施設の効率的かつ適正な管理運営や利用促進のためのPR等を行う。

【管理運営受託施設】

スモールオフィス、一般オフィス、会議室ほか

(2) **学研都市の国際化の推進 (48,200千円)**

○ **海外大学等連携交流事業(14,499千円)**

学研都市に進出した海外大学と学研都市の大学等との共同研究プロジェクトへの支援を行う。また、交流協定を締結している海外のサイエンスパーク等との交流を進める。

○ **留学生支援事業(33,701千円)**

□ **留学生就職支援プログラム事業(2,774千円)**

学研都市の大学に在学する留学生のうち、日本企業に就職を希望している20名程度を対象として、ビジネス日本語講座や企業見学会、就職活動に対する支援(キャリアカウンセラーによる個別指導、セミナーの開催等)を行い、グローバル人材の地元就職を後押しする。

□ **語学教育センター運営事業(4,996千円)**

学研都市の留学生や外国人研究者等の日本語習得支援のための日本語講座を開講する。

□ **奨学金等の給付(20,063千円)**

学研都市の大学院に在学する留学生(20名)に対して、1人当たり年60万円の奨学金を支給するほか、企業がスポンサーとなる冠付奨学金も支給する。

また、留学生宿舎に入居を希望しながらも入居できず、民間賃貸住宅で生活している留学生に対して家賃助成を行う。

なお、財源の一部に特定資産(6,500千円)を活用する。

□ **留学生交流事業補助(700千円)**

NPO法人やボランティア団体が実施する学研都市の留学生に対する支援(生活・就職相談、日本文化体験、地域住民との交流等)に対して助成を行う。

なお、財源として特定資産(700千円)を活用する。

□ **学研都市留学生同窓会(468千円)**

学研都市を卒業した留学生と在校生、大学教員、留学生支援事業関係者とのネットワークづくりのための同窓会開催を支援する。

なお、財源として特定資産(320千円)を活用する。

2 産学連携による技術力の強化と新事業の創出

(1) **情報発信と連携の場の創出 (35,709千円)**

○ **産学連携推進事業(35,709千円)**

□ **産学連携推進事業(研究者情報冊子の作成、産学連携フェア等)(9,971千円)**

学研都市の研究者情報等の技術シーズや研究成果を積極的に発信するとともに、最新の技術動向の収集や国その他関係機関との産学連携ネットワークの強化に取り組む。

また、特定の技術テーマについて、産学官で自由にディスカッションする「産学交流サロン(ひびきのサロン)」や、学研都市を中心に、地域の大学(研究機関)・企業等の研究シーズや先端科学技術の研究開発状況を広く情報発信する「第15回産学連携フェア」(10月下旬開催予定)を開催し、産学連携ネットワークの拡大を図る。

(2) 研究開発の支援と事業化の推進 (454,710千円)

○ 北九州市新成長戦略の推進 (101,090千円)

□ 新成長戦略推進のための研究開発プロジェクト助成事業 (78,200千円)

北九州市新成長戦略を推進するため、技術の高度化、製品の高付加価値化及び新産業の創出を目指す研究開発を促進する。

・ 新成長戦略推進研究開発事業(助成金)

【シーズ創出・実用性検証事業】

北九州市新成長戦略に定める成長分野に関し、実用化を目指すシーズを見出し、その可能性を検証する研究開発に対して助成する。対象は市内大学等研究者、市内中小・中堅企業。

【実用化研究開発事業】

北九州市新成長戦略に定める成長分野に関し、実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に対して助成する。対象は市内企業。

□ 新産業創出支援事業 (9,896千円)

新産業創出の基盤となる先端技術分野やものづくり加工分野、安全・安心の市民生活に貢献する分野等について、必要な市場予測と技術開発動向等の基盤情報に関する調査を行い、具体的なプロジェクト創出を目指すとともに、国プロ終了案件について、事業化を目指した補完研究を実施する。

□ 地域企業の成長産業分野への新規参入支援事業 (5,000千円)

市内のものづくり企業の成長分野への新規参入を促進するために、試作部品の図面化・要求仕様の詳細化、試作品づくり、商談可能性の高い大規模展示会への試作品展示や顧客の商談までを一貫して支援する。

【成長分野新規参入支援事業】

新たな分野への参入や新たな顧客開拓などに用いる「サンプル(試作品)製作費用」「サンプル(試作品)を用いた商談や展示会出展に必要な経費」を助成する。対象は市内中小企業、市内中堅企業。

□ 【新規】作業動作アシストツール(K-スーツ)開発・導入支援事業 (5,000千円)

産業医科大学・九州工業大学等と連携して、工場等における作業環境の分析、作業動作をアシストするツールの導入支援、さらには市内発の作業動作アシストツール(K-スーツ)の創出を目指すことにより、高齢化に対応した市内企業の競争力強化を図る。

□ 【新規】3Dものづくり技術支援事業 (2,000千円)

市内中小企業等が持続的に成長・発展するために必須である3Dものづくり技術の導入・活用を地域一体として進めていくため、セミナー等による啓発、普及活動や先進化を図る研究活動を実施する。

□ 地域イノベーション戦略支援プログラム事業 (994千円)

福岡県、北九州市、福岡市、福岡県産業・科学技術振興財団と連携し、これまでの文部科学省クラスター施策での研究成果等の展開を図るとともに、低炭素社会、高度情報化社会、健康・長寿社会等の次世代社会に必要な研究開発を推進し、アジアをリードするイノベーション拠点「福岡次世代社会システム創出推進拠点」の形成を目指す。

○ 国等研究開発プロジェクト受託事業 (163,386 千円)

国等からの研究開発・人材育成資金を活用した産学共同研究プロジェクトを推進する。

<27 年度事業>

所管官庁等	事業名 (研究期間)	参 画 機 関		事業費 (千円)
		大学・研究機関	企 業 等	
経済産業省	溶融亜鉛めっきの代替が可能な複合酸化物を活用した高強度防錆塗料と工法の開発 (H25~27)	九州工業大学 九州大学	ダイキ工業(株) エス・エルテック(株)	11,492
	非常用電源としてのマグネシウム空気電池を実現する難燃性マグネシウム合金鋳造薄板による革新的電極材の開発 (H25~27)	—	(株)戸畑製作所 古河電池(株) 不二ライトメタル(株) (独)産業技術総合研究所	11,699
	SiCセラミックス大幅適用拡大の為に新規2段反応焼結法(接合・精密加工技術)の開発 (H26~28)	九州工業大学	(株)フジコー	30,000
文部科学省	微細加工プラットフォーム実施機関 (H24~33)	—	—	9,500
全国中小企業 団体中央会	竹-プラスチックコンポジット材を活用した事業の推進 (H26~28)	—	石川金属工業(株) 環境テクノス(株)	9,776
(独)国際協力機構 (JICA)	インドネシアバリクパパン市における泥炭・森林火災の消火技術モデル事業 (H25~27)	北九州市立大学	FAIS 北九州市環境局(アジ低) 北九州市消防局 シャボン玉石けん(株) (株)モリタホールディングス (株)モリタ ㈲とーく	17,500
合 計				89,967

○ 北九州技術移転機関(北九州 TLO) 運営事業 (55,525 千円)

□ TLO 運営支援事業 (21,125 千円)

大学等の研究成果を知的財産として権利化し、産業界へ技術移転することにより、新製品開発や新事業創出を促進する。

また、技術移転により企業から得られた収益(ライセンス収入)の一部を大学等に還元することで、研究活動の活性化を促すとともに、移転先企業の事業化を促進させるための取り組みを強化する。

○ 半導体・エレクトロニクス技術推進事業 (53,862 千円)

□ 半導体産業創出事業 (21,383 千円)

ひびきののエレクトロニクス関連企業の事業化に向けて、ハード・ソフト両面から支援を実施する。具体的には、新商材のビジネス化を目指す企業サークルや研究体のため、EDA、評価解析器などの設計、評価、解析環境を提供し、新たなアプリケーションの創出や新商材のビジネス化を支援する。

□ **新アプリケーション創出事業(4,105 千円)**

「ひびきの LED アプリケーション創出協議会」の円滑な運営により、各研究会の研究・開発活動を支援し、ひびきの発の新商材創出を目指す。また、LED 以外の技術分野のアプリケーションの掘り起こしを図るとともに、LED に続くアプリケーション創出協議会の発足を目指す。

○ **次世代自動車技術拠点推進事業(33,237 千円)**

□ **カーエレクトロニクス拠点推進事業(7,861 千円)**

低炭素化社会のための環境技術や高齢化社会に対応した運転支援技術など、学研都市の研究シーズを活かした特色のある自動車技術に関する研究開発に取り組むとともに、研究開発プロジェクトの創出によりカーエレクトロニクスを中心とした自動車技術の拠点化を推進する。

○ **ロボット開発等支援事業(47,610 千円)**

□ **【新規】中小製造業向け製造ロボット（K-ロボット）開発・実証事業(8,500 千円)**

中小製造業向け製造ロボット（K-ロボット）の開発を推進するため、これまで進めてきた要素技術の検証を既存の産業用ロボットを用いて実施するとともに、市内の中小企業においてK-ロボットを活用するために必要な環境整備について検討を行う。

□ **産業用ロボット導入支援事業(8,800 千円)**

個々の生産現場に対応したロボットシステムの試作・開発の支援などにより、地域企業のロボット導入を促進する。また、ロボットテクノロジーを活用して、地域企業のものづくり力強化と生産性向上を図る。

昨年度ロボットを導入した企業を継続的にフォローするとともに、新たなロボット導入を計画している企業の発掘も行う。人材育成については「ロボット道場」を随時開催。

□ **市内発ロボット創生事業(2,477 千円)**

北九州ロボットフォーラム会員から開発メンバーを募り、新規ロボットの開発に取り組むとともに、ロボット市場の可能性を検証するための実証試験の場を提供する。

□ **新技術・新製品の実証化・事業化支援事業(615 千円)**

実用可能性が高いテーマを中心に製品化へ向けたサポートを実施する。技術開発フェーズにあるロボットにおいても将来性のあるテーマについては、実証実験の場を提供する。

3 中小企業の経営支援と創業の促進

(1) **中小企業の経営支援 (95,433 千円)**

○ **中小企業経営支援事業(80,487 千円)**

□ **中小企業・ベンチャー総合相談窓口事業(2,010 千円)**

中小企業支援センターに配置する中小企業診断士等の専門家により、中小・ベンチャー企業の経営から技術に至るまでの相談に幅広く応じる。また、平日の窓口訪問が困難な創業予定者等に対する休日(土、日曜日)相談を行う。

□ **専門家派遣事業(19,007 千円)**

当財団が登録している中小企業診断士、技術士、社会保険労務士等の専門家<登録人員 213 名(平成 27 年 1 月末現在)>を必要に応じて中小企業に派遣し、個別の経営課題解決を支援する。

□ **情報収集提供事業 (7,369 千円)**

市内中小企業等が経営上必要とする各種情報を、機関紙やホームページ、セミナーの開催等を通して幅広く提供する。

□ **巡回指導・マッチングコーディネート事業 (4,588 千円)**

巡回専門相談員が市内中小製造業を巡回して経営状況や経営課題をヒアリングし、中小企業支援施策等の紹介を行う。また、支援センターのマネージャー等が経験や人脈をフルに活用してビジネスマッチングのコーディネートを行う。定期的に発注企業と地場企業の面談・情報交換の場を提供し、地場企業の取引・受注機会増大を図る。

○ **北九州知的所有権センター運営事業 (14,946 千円)**

地元企業の新技術・新製品開発や新たな特許の取得を促進するため、「北九州知的所有権センター」において、産業財産権の閲覧、出願等に関する相談・指導、開放特許の流通、セミナーの開催等を行う。

(2) **創業の促進 (21,429 千円)**

○ **ベンチャー育成補助事業 (21,429 千円)**

□ **インキュベーション・マネージャー配置事業 (11,209 千円)**

インキュベーション・マネージャーを配置し、市内インキュベーション施設の入居企業に対する創業から事業化までの支援を行うとともに、学研都市発のベンチャー企業及び市内ベンチャー企業などの支援を行う。

□ **テクノセンターインキュベーション室助成 (1,920 千円)**

独自の技術やビジネスモデルを構築して起業を志す者にインキュベーション室を安価に提供(家賃の2分の1を助成)し、その成長を支援する。

□ **北九州ベンチャーイノベーションクラブ運営事業 (1,392 千円)**

新事業の創出と事業拡大を促進することを目的として、ベンチャー企業等を支援するネットワーク「北九州ベンチャーイノベーションクラブ(KVIC)」の運営を通して、会員企業の経営課題解決支援や販路開拓・資金調達等のためのマッチング機会の提供等の各種事業を行う。

【収益事業等会計】

(1) **学研都市施設活用事業 (19,067 千円)**

収益事業(駐車場管理運営、自動販売機設置)を実施し、学研都市の入居者や来訪者の利便性の向上を図る。

【法人会計】

(1) **財団の管理運営等 (24,053 千円)**

財団を運営していくために必要な人件費及び事務費

合 計 2,034,147 千円